

はくさんコミュニティ・スクールだより

平成 31 年 2 月 22 日発行 第 9 号

ありがとう集会

2月6日のありがとう集会に、84名のサポーターの皆さんが出席してくださいました。1, 2年生と入場したサポーターさんは、満面の笑顔でした。今年度収穫したお米と手紙をプレゼントし、児童運営委員会が考えた白山小ならではのクイズで、集会はさらに盛り上がりました。子どもたちは、スライドでサポーターの皆さんと活動した思い出を振り返りながら、「パプリカ」の歌と踊りで感謝の気持ちを伝えました。ありがとう集会を通してたくさんのサポーターの皆さんが自分たちを見守り、支えてくださっていることを子どもたちは改めて実感しました。サポーターさんを代表し、井戸老人クラブ三楽会小田会長さんより、「サポートのきっかけは、登校時の子どもたちの礼儀正しい挨拶でした。子どもたちから元気をもらっているのだから、これからもずっと子どもたちをサポートしていくつもりです。」と、子どもたちに心強い言葉を贈ってくれました。



わたしは、ありがとう集会のクイズでサポーターのみなさんと協力して答えを考えて楽しかったです。パプリカの歌では感謝の気持ちをこめて歌ったりおどったりできてよかったです。これからもあたりまえのことはあたりまえにできるようにして、これからのサポーターの人たちとの活動を感謝の気持ちをこめてしたいです。来年は六年生になるので、班をまとめた感謝の気持ちをわすれずに活動したいです。これからもいろいろなことに感謝の気持ちをもて取り組みたいです。

私は感謝の気持ちを伝えられました。六年生になってからもたくさんお世話になる機会が増えてくると思います。笑顔で元氣よく接していきたい。感謝の気持ちを伝えられるように、心がけていきます。今日のありがとう集会では、これまで練習してきた「パプリカ」をせい、はいおどりました。私たちの班に来られたサポーターのみなさんは笑顔で楽しそうにしてくれてうれしかったです。協力してくれる人に感謝し、学びに生かしていこうと改めて思いました。



全校生が一人一役で準備をしました。

ようこそSENPAI！！

1月16日に、「ファジアーノ岡山」の原田貴志さんが白山小学校に帰ってこられました。原田さんの進んだ道は、「大好きなサッカー」。「好きなことをとことんやってみよう。」と、原田さんはサッカーのコーチになりました。日本全国だけでなく、世界18か国を訪れている原田さんの話は楽しく、興味深いものでした。仕事をしていてよかったことの一つは、競い合えるたくさんの仲間と出会え、いろいろな場所に行けたことだそうです。「原田さんのようなすてきな先輩がいることを誇りに思います。今日聞いたお話を将来に生かしていきたいです。」と、代表児童がお礼を述べました。



私が今回思ったことは、小さい頃からの得意だったことを夢にし、それをかなえていることがすごいということです。私も今の夢をかなえることができるように、日々がんばりたいと思いました。また、コーチのように次の世代へとつないでいくことも大切だと思いました。

私はお話を聞いて、自分の好きなことを仕事にして仕事を楽しくすることが大事だと思いました。私はパティシエになりたいので、将来、パティシエになって、困難に立ち向かえながら楽しく仕事をしたいです。お話のようにやめたくなくなってしまうこともあるかもしれないけど、あきらめず夢に向かってがんばります。

私は原田さんから好きなことを仕事にすることは大切だと学びました。私はこれから、自分の夢に向かって原田さんから学んだことを生かしてがんばりたいです。そして、うまくいなくても、自分で決めた夢はあきらめずにがんばりたいです。

わくわく学習部会

もちつき体験



3年生は、1月22日におやじの会と井戸婦人会の皆さんと餅つきをしました。サポーターの皆さんのぺったん、ぺったんと餅をつく音と、子どもたちの「よいしょ、よいしょ。」の元気な掛け声が響き合いました。そして、できあがったお餅は子どもたちとサポーターの皆さんと一緒に和やかにお話をしながらいただきました。おやじの会の眞鍋さんは、「毎年子どもたちの元気な掛け声が聞けるのが楽しみです。子どもたちが気持ちを込めてついてくれたお餅はとてもおいしかったです。」と話してくれました。



もち米をうすに入れるとき、おいしそうなおいがしてはやくもちを食べたいなと思いました。きねでもち米をつくとき、きねは重かったけれど、もちをつくときはとても楽しかったです。白井さん、吉田さん、まなべさんがもちをつくときは、ぺったん、ぺったん、という音が聞こえてきました。もちを丸めるときは、少し大きくなつたけどとてもおいしかったです。はやく食べたいなと思いました。食べてみると、とてももちもちしていておいしかったです。また、もちつき会をしたいと思います。



わたしは、もちつきをしました。さいしょは、サポーターさんがついてくれました。力強くバチンバチンと音がしました。わたしは、バチンバチンという音がしました。でも、つづくと音がかわり、さいごはバチンと大きな音がしました。わたしはびっくりしました。次に、もちをこねました。手にこねをつけて、あんこもち、白もちを作りました。さいごにおもちを食べました。きなこをかけました。わたしは、2つともぺろりと食べました。サポーターさんとなかよくなれてよかったです。

サポーターさんとの思い出

白山小では、サポーターさんとの学習をふり返り、お礼の手紙を書いたり思い出の場面を絵に表したりすることで、豊かな体験が学びにつながることを目指しています。



わたしは、レタスの作り方を知らなかったのでも、香西さんから優しく教えてもらって、レタスの作り方のくふうが分かりました。香西さんのレタスはとてもシャキシャキしていておいしかったです。なので、家族もおいしく作っている人や農家に感謝をしたいと思います。

実家に畑に行ったら、教科書にはなかつたふうが見えました。

家でレタスをサラダにして食べました。食べるとシャキシャキしてとてもおいしかったです。お母さんもお兄ちゃんも、シャキシャキしておいしく、と言っていました。

こう西さんが全部のレタスをつつていいいあいじょうをこめて育てているからおいしいのだと思います。これからも作ってくれて、人に感謝して食べたいです。